

だいふく



地域福祉を推進する大分県社協 2013.9.10.11

大分社会福祉 No.173

<http://www.oitakensyakyo.jp/>



横浜でたくさんの
友だちと
会ってきたよ。



実行委員会 共催／横浜アーツフェスティバル実行委員会 共催／横浜市、神奈川県、FMヨコハマ、富士山の銘水株式会社、(CIOUS) 制作協力／株式会社横浜アーチス

特集

指定避難所～被災者支援拠点という視点～



Twitter
facebook

やっています。
ぜひ登録をお願いします。



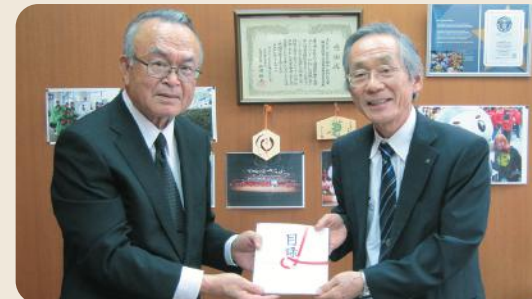
この機関誌は、共同募金の配分を受けて発行しています。

- 福祉避難所開設・運営セミナー 4
- 百円居酒屋の取り組み 5
- 第三者評価受審手数料改正 6
- 赤い羽根共同募金 7
- 善意銀行預託者 8
- 今月のイチオシ！ 8
- 社協インフォメーション 8

善意銀行預託者 [5～8月]

- NPO法人 かぐや姫
- (株)三洋アルミ
- 有限会社 らいざん堂
- 大分県立看護科学大学 若葉祭実行委員会
- 井上 淳
- 神野 浩司
- 大分市社会福祉協議会 大分市ボランティアセンター
- 豊の国協同組合
- 兼子 厚子
- 南九州ビバレッジサービス株式会社
- 公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団
- 九州納豆組合
- JXホールディングス(株)
- 大分フットボールクラブ (敬称略)

いつも
ありがとうございます



いただいた金銭・物品は、社会福祉施設や各種社会福祉活動に活用し、また、指定があった事業等に活用しています。ご協力ありがとうございました。

今月のイチオシ!

「パン・クッキー」

“安全”と“安心”「自分らしさを活かした就労支援を心がけています」マルシェでは、静かな自然環境の下、利用者さんの希望に添った、適正に応じた作業を展開しています。パン・クッキーなどの菓子製造作業を中心にメンテナンス作業、室内軽作業など、細かく7部門に分かれています。毎日同じ作業を継続することも、曜日により作業内容を変更することも可能です。

これからの季節、たくさん
のイベントに出店します、
食欲の秋に是非！マルシェ
のパン・クッキーをお買い
求め下さい。



社会福祉法人ラポール

お問い合わせご注文は 就労継続支援B型 **マルシェ**

〒879-7763 大分県大分市大字下戸次字中姉子1253

TEL 097-586-7272 FAX 097-586-7282

E-mail : rapports@bun.bbq.jp

ホームページ <http://rapports.jp/>

大分ヒートデビルズ 障がい者の“働く”を応援するお店



ステップクラブ

Step★Club

オープン

平成25年10月29日、プロバスケットボールチーム「大分ヒートデビルズ」を運営する「株式会社バスケで」が、地域福祉の推進や社会貢献の取り組みとして、障がい者就労支援施設の商品を販売する店舗を大分市都町に開きました。

県内の8施設で生産する手作りのお菓子、木製のおもちゃ、雑貨を販売しています。

「バスケで」が社員1名を配置し、販売を担当してくれます。

だいふくんグッズも置いています。お気軽にお立ち寄りください。



お問い合わせ先 株式会社バスケで STEP★CLUB(ステップクラブ)

〒870-0034 大分県大分市都町4-1-29 TEL 097-511-2232 【営業時間】9:00～18:00(休:日曜日)

指定避難所

～被災者支援拠点という視点～



避難所とは

避難所は被災者自ら運営しなければいけません。まだまだ避難所に到着さえすれば大丈夫だと思っている方が多くいます。しかし、指定避難所になっている場所の多くは、小・中学校の体育館または公民館です。生活する場所としての施設ではありません。そもそも指定避難所とは7日間程度を過ごす場所との位置づけですので、整備もされていないところがほとんどです。雨露しのぐ建物だけでは「命」と「くらし」は守れません。生活の場所としての機能と体制を準備する必要があります。

行政では、どのくらいの人が避難してくるのかを総人数から施設を割り出します。しかし、一人ひとり、必要なもの、必要な支援が異なります。個人で準備しなければならないもの、地域で備えておくもの、行政



が、混乱を極めている行政も対応
がでなかつたと思います。回答
をいただくことができないまま
久能校長の判断で解放したそう
です。

確かに、避難所には地域住民だけでなく、旅行者やたまたまその地域に来ていた他の地域の人も避難してくるとの記載がありますが、その方々のことも考えて避難所の備蓄計画を考えているところがあるかというところほとんど無いに等しいと思います。

被災した地域を支える

人口密集地では、被災予想人口が現在の指定避難所収容人数を超えてしまっているところもあります。そのような地域では、災害の種類によっては、マンションなど**安全が確保できるのであれば自宅に留まって欲しい**というたっている自治体もあります。無理をして避難所に避難しなくても良いし、いろいろな課題を抱えている人たちは、精神的にも身体的にもその方が楽だと言えます。

た、ライフラインが止まっている場合などは、その方々の食料や水、トイレの問題をどのように解決するかが力ギになってきます



各世帯ごとのプライバシーを守った避難所の例

や専門スタッフの仕組みが必要な場合もあります。避難所では、災害から助かった命を守る機能が必要です。

多様な避難生活

これまでの被災地では、被害に目を奪われ、被災者の暮らしについてなかなか着目されませんでした。避難所に指定されていない場所で避難生活をされている方、被災した自宅で生活を行っている方、親せきや知り合いを頼って生活を行っている方など、多様な避難生活を支える仕組みや決まりもありませんでした。

指定避難所に避難しなかった方とはどのような方々だったのでしょうか。東日本大震災のさまざまな方の証言から、特に障がいをお持ちの方、高齢者など、集団生活を行うことが厳しい方々が、やむを得ず壊れた自宅や避難指示の出ている地域で生活を行っていたことがわかつ

災者への配慮を主な柱としている
ようです。

東日本大震災では

自宅を失った岩手県大船渡市の女性（22）は、自閉症の長男（22）たちと、避難所や福祉施設を転々とした日々を振り返り、「震災の日、車で近所の学校の体育館へ向かった。見知らぬ人たちが集まり、騒然とする館内に、長男が落ち着ける場所 wasn't なかった。やむなくエンジンをかけたままの車の中に泊まった。食料や毛布の配給が知らされず、受け取れなかった。ガソリンが尽き、翌日には体育館に入ることに。身体を動かす場所だと覚えていた長男は館内を走り回り、他の人から「走らせるな」と怒鳴られた。萎縮する長男を見て、数日後には他の避難所へ。お年寄りたちが身を寄せる福祉施設にも行ったが、お年寄りの身の回りの世話まですることに。夫の勤務先が用意してくれた社宅に入れたのは約3週間後だった。」と話しています。

また、南相馬市の『NPO法人さぼーとびあ』代表理事の青田由幸さんは、「原発の問題で全市民が避難しなければならぬ状況でも、自宅に残っている障がい者は20%いた。さらに、一か月間に戻ってきた障がい

ています。この問題を解決していかねければ災害から助かった命を守ることはできません。

多様な被災者

帰宅困難者が予想される大分市など住所地でない方が指定避難所に避難する状況も考えられます。東日本大震災時、仙台市の榴ヶ岡小学校では、仙台駅に集まってきた帰宅困難者を、この地域の指定避難所としてＪＲ職員や警察官が紹介したため、約２５００人の帰宅困難者が詰めかけたそうです。当時の久能校長は、「それまで地域住民の方々と避難所訓練など行っていました。結局地域住民の方が避難してくる前に帰宅困難者で家庭がいっぱいになりました。子どもたちの安全（被災時間には、ほとんどの子供たちがまだ学校にいた）を考えると体育館を開放するしかなかった。」と、おっしゃっています。この決断をする際には、一応行政に問い合わせをしました。

い者や高齢者は40%になった。その理由としては、避難できる場所がない。避難する方法がない。避難の情報が入らなかった。避難した避難所での生活には困難が多すぎたなどである。」と話しています。

最後に

このような在宅にいる被災者の支援も含めて、今後指定避難所のあり方を考えていく必要ができました。声を上げられない人が取り残されないように。

「被災者支援拠点」として機能する仕組みは日常に構築しておく必要があります。人のつながり、支援ができる仕組みと専門家の連携、安心できる環境など、“命とくらしを守る”ために避難所はこれまで以上の役割を担うことを知り、冒頭にふれた避難所の運営も考えていただきたいと思います。

文責 大分県ボランティア
市民活動センター

村野 淳子





百円居酒屋 の取り組み

～朝来サポートセンター鈴鳴荘～

9月14日、国東市にある小規模多機能ホーム「朝来サポートセンター鈴鳴荘」で行われている「百円居酒屋」の見学に行ってきました。

朝来サポートセンター鈴鳴荘がある国東市安岐町朝来地区は高齢化率が50%を超える地域で、朝来サポートセンターは平成20年3月31日に町内4校の統合により朝来小学校が廃校になることが決まった際、学校跡地を福祉施設として利用してもらいたいという住民の意向によりできた施設です。

百円居酒屋を始めるきっかけとなったのは、小規模多機能型ホームを開設するにあたって行った地域住民に対する聞き取り調査で「話をする場所がほしい」「お酒を飲む場所がほしい」という要望が多かったことだそうです。

開所当初から毎月1回第2土曜日に開催してきたこの活動も今回で53回目を迎えました。開始以来一度も休むことなく毎月開催されており、現在では、毎回地域の高齢者から子供まで百名を超える方々が訪れています。全て百円で提供されている料理やデザートやお酒を食べたり飲んだりしながら、久しぶりに会う人たちとの楽しい時

間を過ごす、この地域の人たちにとってなくてはならない行事になっています。

高齢化率が高い地域であるため、ひとり暮らしの高齢者も参加しやすいようにバスを運行する等の配慮もなされおり、なかなか外出することができなかったひとり暮らしの高齢者が百円居酒屋には訪れることができ、その結果数十年ぶりの再会もあるそうです。

開始当初は、ほとんどが鈴鳴荘の職員のみで行っていたこの活動ですが、平成22年9月からは「居酒屋応援隊」と称した地域のボランティアさんにお手伝いいただくようになり、その人数は50名を超えています。

また、提供しているお酒や野菜についても地元の酒蔵や地域の方からの提供されたものを利用する等地域に支えられた活動となっています。

また、昨年から高齢化により存続の危機にあった地域のお祭りを居酒屋と合同で行うようになり、地域の行事をこの百円居酒屋に合わせで行うなど地域を活性化するための核となる活動になっているようでした。



百円居酒屋の活動を見て、高齢化、過疎化が進んでいる地域でも少し手助けをすることにより地域が活性化していくことができるのだということを実感しました。今後、このような活動が各地で広がっていくと嬉しいです。



福祉避難所開設・運営セミナー

8月28日、大分県総合社会福祉会館で『福祉避難所開設・運営セミナー』を開催、福祉施設の関係者や民生委員・児童委員、市町村の関係者など約200人が参加しました。災害時に高齢者や障がい者など支援が必要な方を受け入れる「福祉避難所」について考えるためのセミナーで昨年に引き続き第2回目の開催でした。



折腹 実己子(おりはら みきこ)氏

今回は宮城県仙台市より、東日本大震災の際、実際福祉避難所として施設を運営された特別養護老人ホーム パルシアの施設長の折腹 実己子(おりはら みきこ)氏が、『福祉避難所開設・運営から見た災害時の判断・対応と備え』というテーマで講演。実際震災が起きた際、情報が全く入らずに困ったこと、ライフラインが絶たれた中でサービスの提供を行ったことなどを、写真や体験談を交えながら話されました。そして実際に福祉避難所を開設して見えてきた課題や、パルシアでの今後のあり方や取組を教えてくださいました。

その後、大分大学の山崎栄一さん、日出町にある暁谷苑施設長の柿本貴之さん、佐伯市役所の西田将則さん、折腹さんの4名で、「大分県における福祉避難所の質の向上を目指して～福祉避難所が本当に機能するためには～」をテーマにパネルディスカッションを行いました。その中で福祉避難所となる施設側の不安や課題、福祉避難所となる施設と協定を結んでいった行政側の今後の在り方と課題、それぞれの立場で話されました。最後に山崎准教授が「避難所に指定されている施設は、平常時から地域と積極的に関わることが大切。様々なパターンの災害を想定しながら、実戦訓練を行うことが有効」とまとめました。

昨年8月末時点で指定福祉避難所数は228か所でしたが、今年8月20日時点で348か所となっています。数的には確保はできたので、今後はその質の向上が大きな課題となっています。





町に愛を。胸に羽根を。

赤い羽根共同募金にご協力をお願いします

「赤い羽根共同募金運動」は、昭和22年に始まって以来今日まで、県民の皆様の善意に支えられ、県内の民間福祉施設・団体の活動支援や、県・市社会福祉協議会の地域福祉活動の推進に多大な貢献をしております。

平成24年度は、みなさまのご協力により約2億1千5百万円の募金収入があり、県下約600ヶ所の福祉施設等への助成資金として活用されました。また、平成24年7月に日田市、中津市及び竹田市で発生した大雨災害の被災者を支援するボランティアセンターの設置・運営資金として、約1千百万円の支援をおこないました。

このように共同募金はあなたの町の困った人を助けるために使われます。どうぞ今年も愛にあふれた町づくりのために共同募金運動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



だいふくん 募金バッジ

大好評販売中!!

大分県社会福祉協議会のマスコットキャラクター「だいふくん」が募金バッジになりました!! 「だいふくん」の名前の由来どおり「大」分の「福」祉を良くするため、より多くの善意をお寄せいただき、助成を待たれている社会福祉施設や団体にお届けしたいと願っております。

皆様方には、こうした趣旨をご理解のうえ、是非このバッジの購入にご協力いただきますよう心からお願い申し上げます。

販売金額：500円/個

おおいたのグルメを食べて募金をしよう!!

大分グルメ散歩募金

ご好評につき、3年目となりました! 新商品もよろしくね!

大分グルメ散歩募金は、県内の食品販売業者をお願いして協賛いただいた商品を斡旋し、売上金の一部を赤い羽根共同募金へ寄付していただく取り組みです。県産グルメを楽しみながら地域福祉と地産地消活動に貢献できる「大分グルメ散歩募金」を今年もよろしくお願いいたします!!



「大分グルメ散歩募金」スケジュール表

注文締切日	納品開始	注文締切日	納品開始
10/25	11/6~	11/22	12/4~

お問い合わせ・連絡先

社会福祉法人 **大分県共同募金会**
TEL 097-552-2371 FAX 097-552-6250

共同募金会へお電話ください。申込書をお送りします。

表

福祉サービス評価センターおおいたに係る手数料額改正表

(1)福祉サービス第三者評価

1.手数料額

ア… 1事業所あたり 250,000円(消費税額含む)

イ… 大分県社会福祉協議会会員法人が経営する事業所
1事業所あたり 230,000円(消費税額含む)

※250,000円から20,000円の減

ウ… 社会的養護関係施設においては、国等が定める措置費の限度額とする。
ただし、県外からの受審に関しては、手数料額その他旅費等(大分県社会福祉協議会旅費規程に準じる)を請求する。

2.手数料額の減額

ア… 同一法人が運営する事業所であり、同一年度内に2事業所以上受審する場合は、2事業所目以降の手数料額を1事業所につき230,000円(消費税額含む)とする。

ただし、大分県社会福祉協議会会員法人が経営する事業所において、同一年度内に2事業所以上受審する場合は、2事業所目以降の手数料額を1事業所につき220,000円(消費税額含む)とする。

イ… 「福祉サービス評価センターおおいた」において評価を確定した日から3年以内に同一法人から受審の申し込みをした場合は、手数料額を1事業所につき230,000円(消費税額含む)とする。

ただし、大分県社会福祉協議会会員法人が経営する事業所においては、1事業所につき220,000円(消費税額含む)とする。

※230,000円から10,000円の減

ウ… 社会的養護関係施設は除く。

社会福祉法人を取り巻く環境が大きく変わろうとしています。政策会議規則改革会議等においても、「内部留保」「経営情報の公開」「地域貢献」等々、社会福祉法人制度に対する指摘がなされています。こうした中、外部監査や第三者評価による社会福祉法人の信頼を揺るぎないものにするための取り組みも、最近俄に脚光を浴びてきています。

全国社会福祉法人経営者協議会では、「アクションプラン2015」(平成23年度〜27年度中期行動計画)に第三者評価の受審を行動指針に打ち出し、今年度の事業計画にも第三者評価を積極的に受審するように強く呼びかけています。

このような流れの中、公正・中立な立場の第三者評価機関からの評価を受けることで、受審事業所は、社会からの信頼を得ることとなります。

大分県社会福祉協議会「福祉サービス評価センターおおいた」では、社会福祉法人のみなさまの受審を考慮し、受審手数料を引き下げました。(表)

さらに、受審法人(事業所)を大分県総合社会福祉会館や大分県社会福

大分県社会福祉協議会「福祉サービス評価センターおおいた」 第三者評価事業受審法人・事業所			
年度	法人名	事業所名	所在地
24年度	社会福祉法人 愛泉会	ホームヘルプサービス情和園	由布市
23年度	社会福祉法人 偕俸社	特別養護老人ホーム 悠々居	竹田市
22年度	社会福祉法人 偕俸社	介護保険サービスセンター 悠々タウン・竹田 通所介護事業部	竹田市
21年度	社会福祉法人 偕俸社	介護保険サービスセンター 悠々タウン・竹田 訪問介護事業部	竹田市
20年度	社会福祉法人 庄内厚生館	児童養護施設 山家学園	由布市
19年度	社会福祉法人 別府平和園	別府平和園	別府市
18年度	学校法人 立山学園 社会福祉法人 森友会	幼保連携型認定こども園 みんなの森こども園	大分市

《平成24年度受審法人(事業所)》

No.	種別	法人名	事業所名	所在地
1	訪問介護事業所	社会福祉法人 愛泉会	ホームヘルプサービス情和園	由布市
2	特別養護老人ホーム	社会福祉法人 偕俸社	特別養護老人ホーム 悠々居	竹田市
3	通所介護事業所	社会福祉法人 偕俸社	介護保険サービスセンター 悠々タウン・竹田 通所介護事業部	竹田市
4	訪問介護事業所	社会福祉法人 偕俸社	介護保険サービスセンター 悠々タウン・竹田 訪問介護事業部	竹田市
5	児童養護施設	社会福祉法人 庄内厚生館	児童養護施設 山家学園	由布市
6	児童養護施設	社会福祉法人 別府平和園	別府平和園	別府市
7	幼保連携型認定こども園	学校法人 立山学園 社会福祉法人 森友会	幼保連携型認定こども園 みんなの森こども園	大分市

という従来のものから、さらに、福祉人材の確保のツールになることも考えられています。

また、第三者評価を受審していない法人や過去に受審して数年が経過した法人にとっては、まさに早めの受審が求められています。

受審手数料を引き下げました!!

「第三者評価で、信頼される元気な法人」